

以前豊島区に住んでいたとき、図書館は本を借りる場所ではなく、その場で調べものをしたり、新聞を読んだりする場所でした。でも、図書館は家から遠く、通勤経路からはずれていたもので、結婚したとき、図書館が利用しやすいことも考えて、西武柳沢の南に新居を決めました。

柳沢図書館は、公民館と併設なので、当日の新聞がロビーにあり、図書館が休みのときでも、新聞が読めます。近所に専門書を扱っている大きな本屋がないこともあり、調べものをする回数も増えました。ただ、引越してきた当初は閉館時間が午後五時だったので、借りて帰ることがよくありました。水・金曜が夜八時まで開館になり、資料検索のパソコンも導入され「やった!」と思ったのもつかの間、子どもができて自分の時間が短くなり、なかなかその場で読むではいられません。でもラッキーなことに、子どもが柳沢駅北口の「ほうやちよう保育園」に通えることになり、図書館には毎日のように足を運んでい

ます。

今二歳のうちの子は、日が短く寒い季節の保育園からの帰り道は、「公園行くー」じゃなくて「図書館行くー」と言います。ロビー展示には目もくれず、図書館の絵本コーナーにまっしぐらで「靴脱いで(脱がせて)」と急かします。真っ先に「読んでー」と持ってくるのは、アンパンマンの紙芝居。もう、すべて読んでーと思います。でも、紙芝居を選んで「読んでー」と持ってくる。紙芝居に飽きると、自分で他の絵本を物色し「読んでー」。

わたしと図書館 宇津木 岳士

もう自分の好みがあつて、私が選んだ絵本には見向きもしないこともしばしば。閉館の音楽が流れると(水・金曜は「六時だから帰るよ」と言う)、これ借りてくと言つて、私のカードを持ってカウンターへ駆けていきます。図書館は、当分うちの子の遊び場になります。他の子と絵本を取り合ったり、奇声を発したりすることもあると思いますが、なるべくしつめますので(叱ってください。方歓迎)、皆様ご容赦ください。

絵本と子育て事業文化講演会 「いよばと絵本」

乳幼児が育つ過程で獲得しなければならぬ「ことば」を、大人がどのように働きかけていけばいいかを話したいきます。手話通訳つき。

講師 木村はるみ氏
(教育研究所ゆずりは代表)

日時 3月4日(土)

午前10時30分～12時
※午前10時15分開場

場所 谷戸公民館 視聴覚室

対象 乳幼児を育てている方・絵本と子育てに興味のある方

定員 80名(先着順・当日会場へ直接お越しください。)

保育

◆対象 1～2歳

◆定員 10名(先着順)

◆申込方法

2月19日(日)～2月26日(日)(但し、2月20日を除く)の開館時間内に、谷戸図書館にご来館の上、お申し込みください。

問合せ 中央図書館

☎0424-650823

「西東京市子ども読書活動推進計画」を策定中です

市では、「西東京市子ども読書活動推進計画」の策定に向け検討を重ね、素案を作成しました。この計画は、子どもの読書活動の推進に関する法律

第9条第2項に基づき策定されます。計画の期間は、平成18～22年度の5年間です。目的は、子どもたち(0～18歳)が、自主的に読書に向かうことができるように配慮しながら、いつでも必要な本に手の届く環境を整備し、「生きる力」を育むことです。目的実現のため、計画を体系化し具体的施策を設定します。

この素案に対し、12月15日(木)～1月13日(金)の期間、パブリックコメント(市民意見提出手続き制度)を実施しました。今後、そのご意見を参考に、懇談会でさらに検討を重ね計画を策定します。

図書館協議会

平成17年度第2回定例会報告

第2回定例会が、10月4日(火)に開かれました。まず、次の事柄について報告がなされました。

①第2次行政改革大綱パブリックコメントについて

②サービスの改善試行について

③東伏見返却ポストの設置について
続いて次に掲げた議事を受け、各委員の意見を交換し閉会しました。

①西東京市公民館・図書館施設整備事業について

②西東京市子ども読書活動推進計画について

③図書館三十周年記念事業について

④開館日時の拡大について

⑤視察について